

2012年3月期 業績説明会

業績総括_{及び}事業方針

2012年5月11日
住友林業株式会社
代表取締役 社長 市川 晃

①2012年3月期 業績総括

②2013年3月期 業績予想について

③組織改正について

④事業戦略

⑤当社の技術力

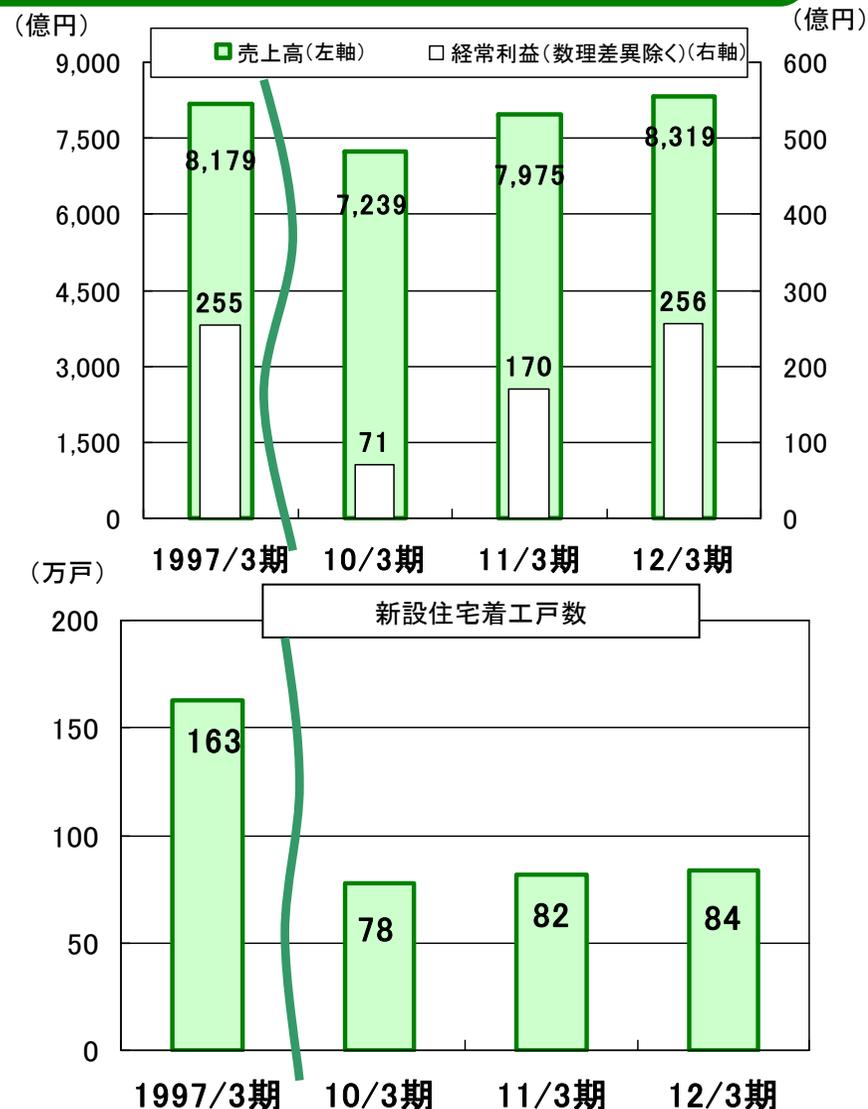
経常利益200億円を安定的に計上できる体制に

<市場環境>

- 震災影響が懸念されたものの、住宅市場は比較的堅調に推移。

<2012/3期 業績総括>

- これまで取り組んできた収益力強化策の効果もあり**大幅増益**を確保。
- 本業ベース(数理差異除く)で**経常利益200億円を超えたのは1997/3期以来**。
- 当時(1997/3期)の新設着工戸数は**約160万戸**。
- 経常利益200億円を安定的に計上できる体制は整いつつある。



堅調な国内住宅市場を背景に 2期連続で経常利益200億円超を狙う

<市場環境>

- 原発・電力問題、欧州問題など予想し難いリスクが存在。
- 今期の新設住宅着工戸数は12/3期と同水準の**85万戸**と予想。

<2013/3期 計画>

- コア事業である木材建材事業と新築注文住宅事業においては、引き続き安定的な収益を維持し、リフォーム事業の拡大や海外事業の損益改善を見込む。

売上高 **8,450億円** (前期比:+ 1.6%)

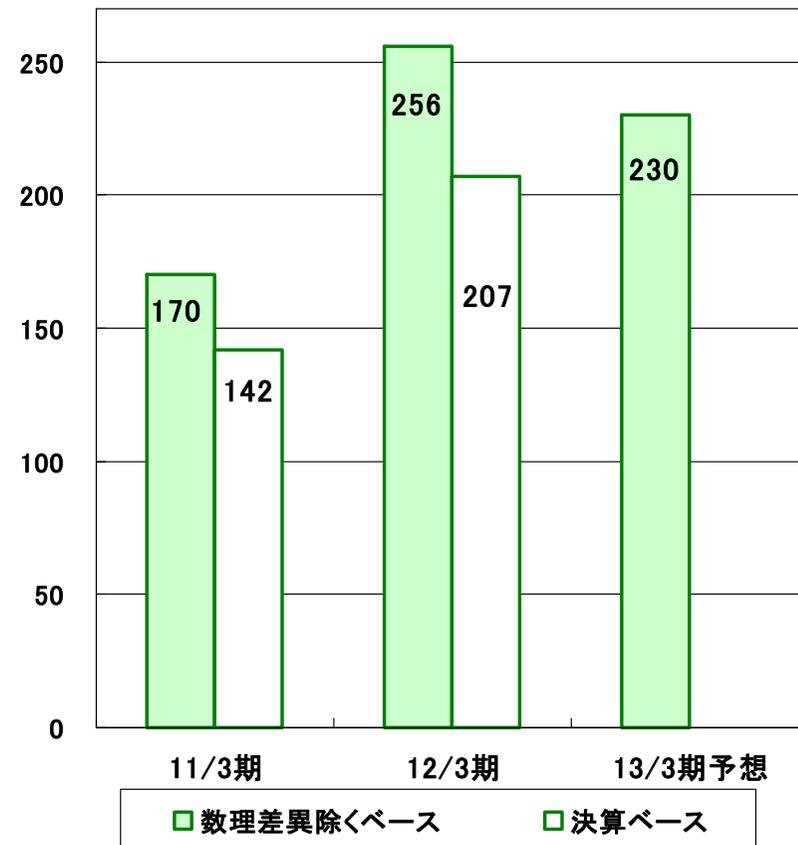
経常利益 **230億円** (前期比:+11.0%)

(数理差異除くベース)

経常利益 **230億円** (前期比:△10.3%)

(億円)

経常利益(連結)の推移



経営資源の最大活用をはかり、 強固な収益基盤を確立する

< 将来の市場環境 >

「リフォーム市場をはじめとするストック住宅市場の拡大」
「海外市場の拡大」
「国内新築住宅市場の縮小」

将来の事業環境を踏まえ、**経営資源を効率的に機能させるべく**
組織改正を実施。

< 木材建材事業 >

グローバル戦略を一元的に展開。

< 住宅事業 >

ストック住宅事業の拡大を加速。

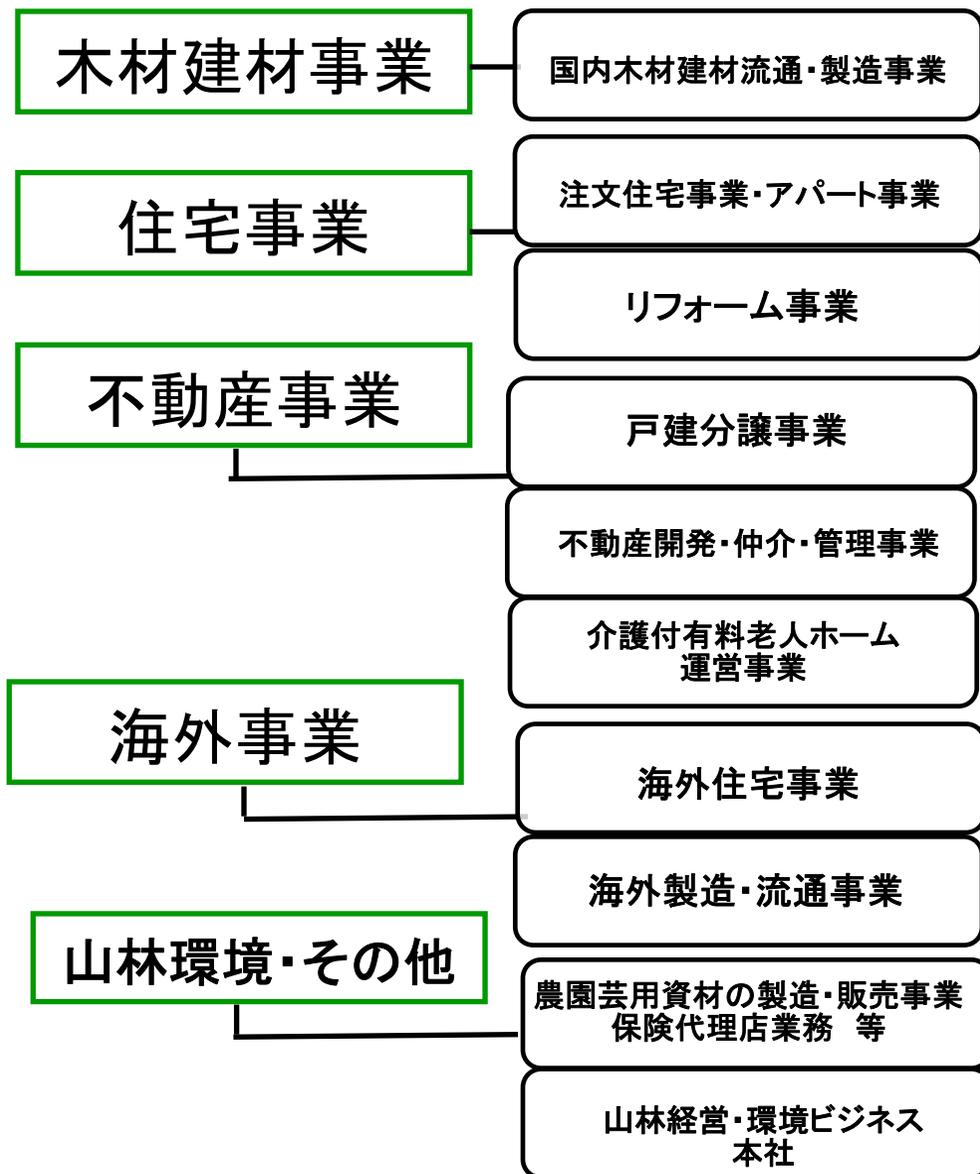
< 海外事業 >

きめ細かい事業管理および新規事業の
成長加速。

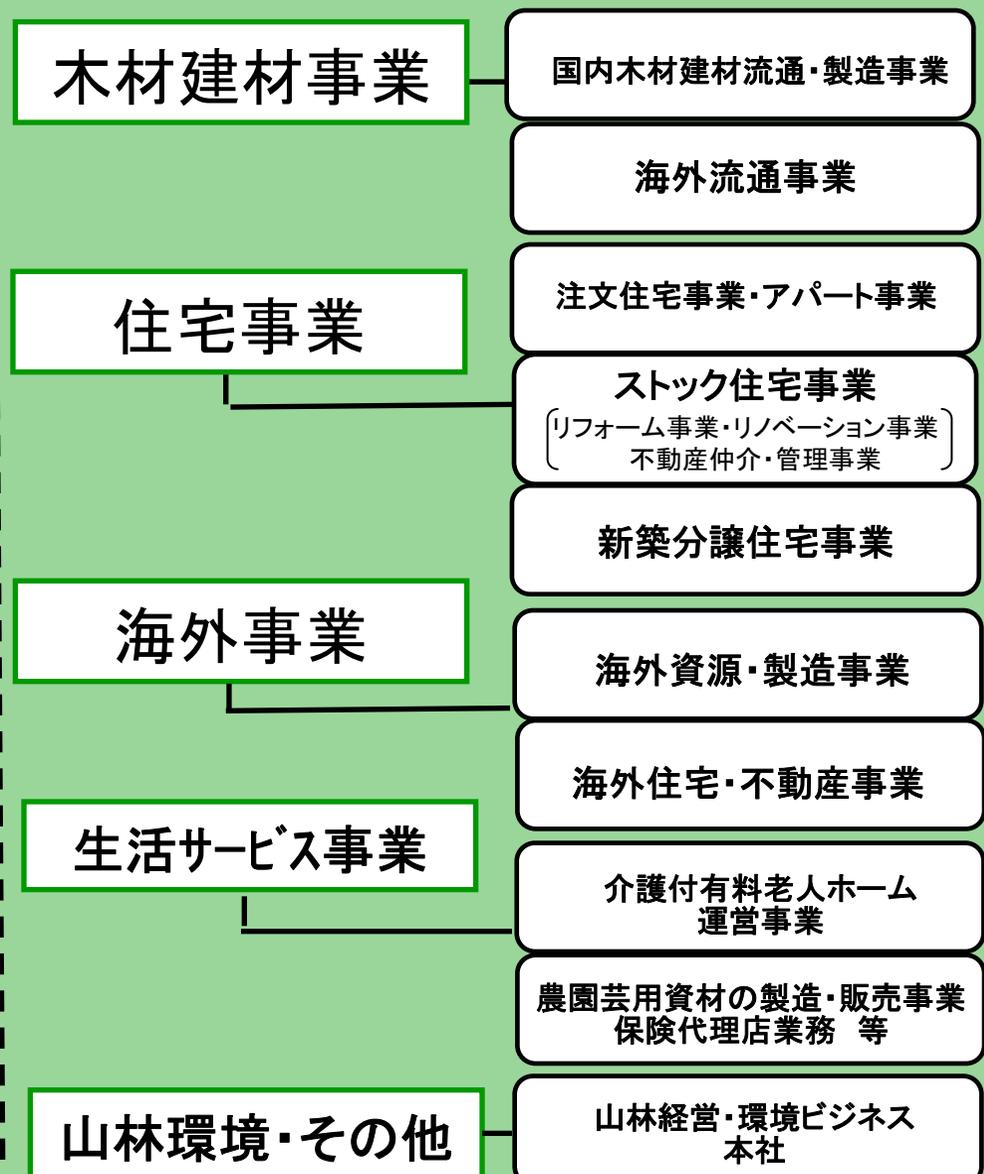
< 生活サービス事業 >

着工戸数に依存しない事業分野の拡大。

<旧>



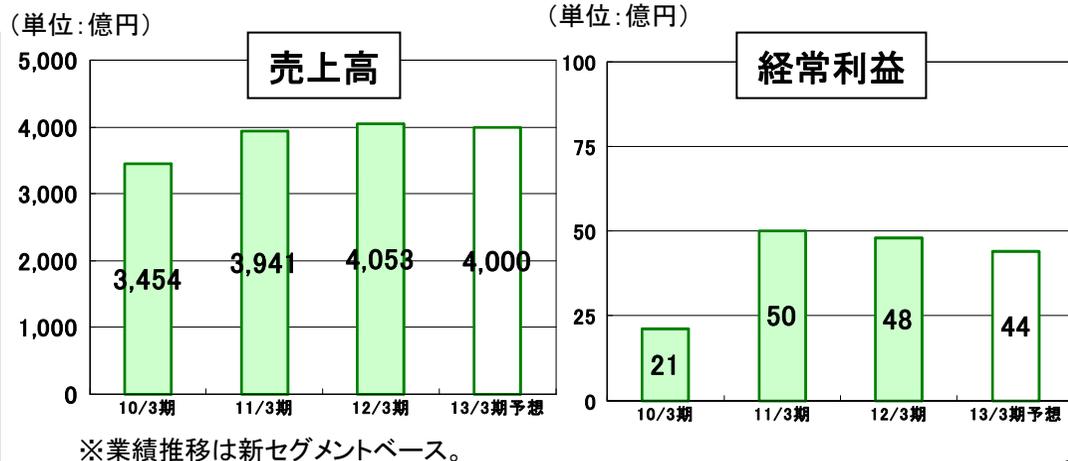
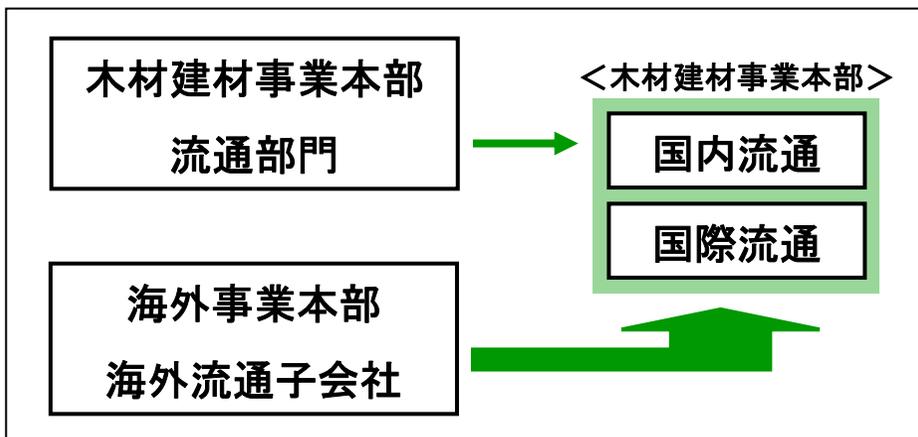
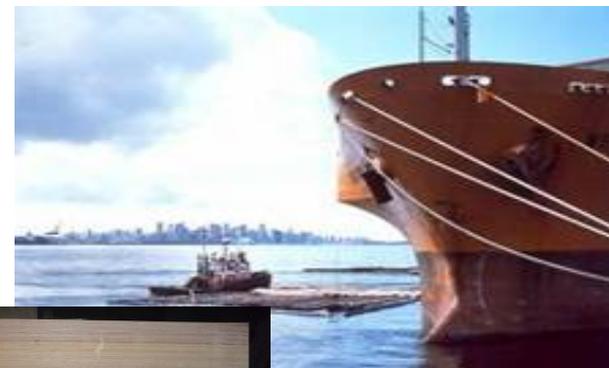
<新>



<木材建材事業>

グローバル展開の加速と国内流通機能の強化

- 海外においては、世界の流通ネットワークを活かし、グローバル展開を一元的に推進。
- 既に展開しているJHOPや3PLサービスを活用し、国内各地域の流通戦略を推進。
- 市場の拡大が見込まれる環境資材や、リフォーム分野への対応強化。



<住宅事業>

「住まい」全体を幅広く捉え、拡大するストック住宅市場に対応

<注文住宅事業>

- 「大都市圏のシェアアップ」、「被災地の復興需要対策」、「安全、安心、省エネニーズに対応した営業戦略」を実施。

<ストック住宅事業>

- リフォーム事業を含めたストック住宅事業の拡大。
2012年4月:「スマートリフォレスト」の発売。

<木化事業>

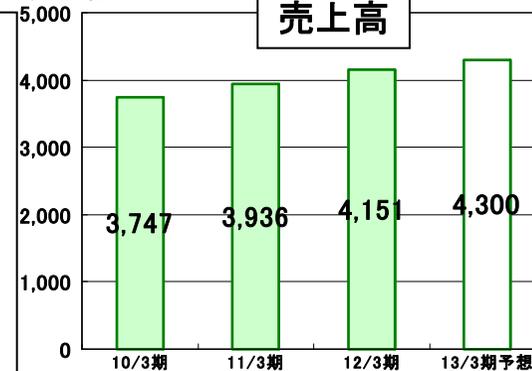
- 木質資源の更なる用途拡大の推進。



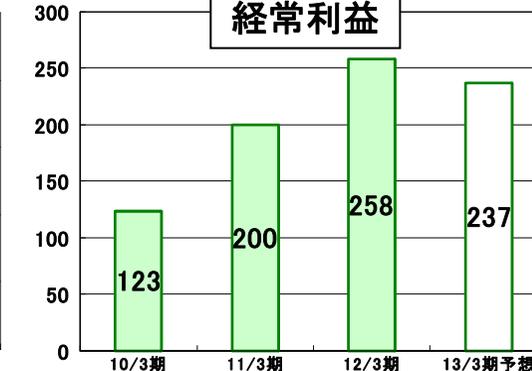
<スマートリフォレスト>

「耐震リフォーム」「断熱リフォーム」により安心・安全かつ快適な住まいとなるよう、現在の住まいの基本性能を向上させ、その上で最新設備機器を搭載し、発電・節電・蓄電の組み合わせで光熱費ゼロを目指すリフォーム。

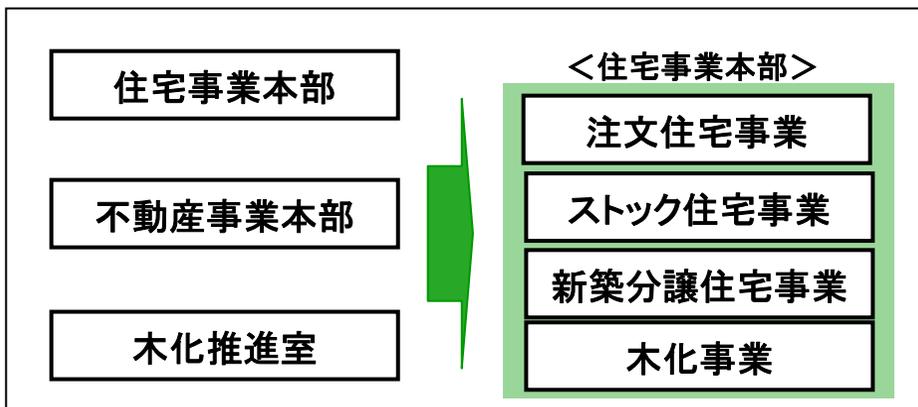
(単位: 億円)



(単位: 億円)



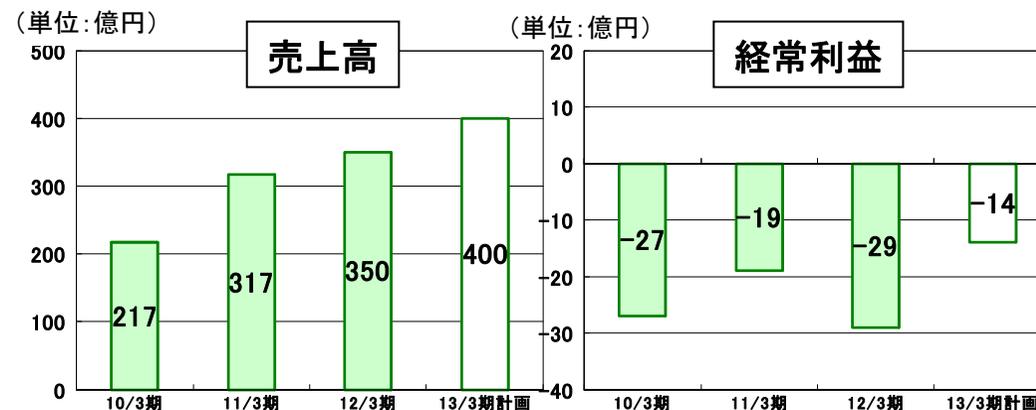
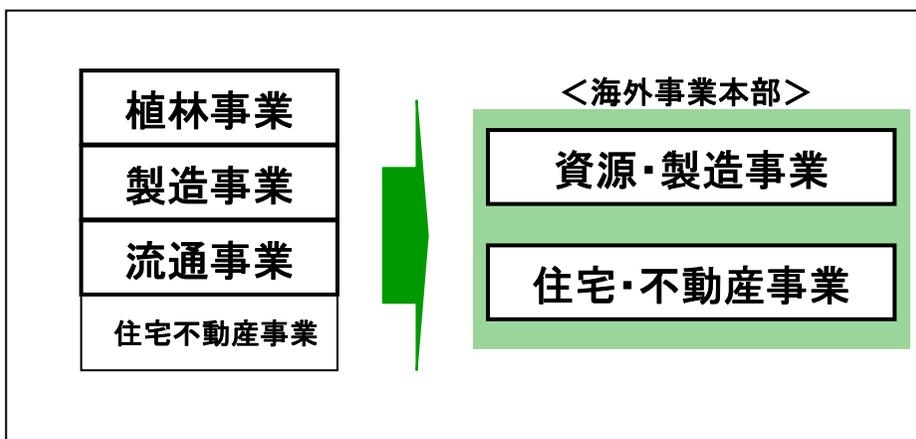
※業績推移は新セグメントベース。



<海外事業>

不振事業の早期立直しと新規事業の成長を加速

- 流通事業を木材建材事業本部に移管し、「資源・製造」と「住宅・不動産」に組織を再編。
- 全ての事業の見直しを進め、赤字事業の早期黒字化を図る。
- 重点事業の一つとして、新規事業の開発、早期収益化に取り組む。



※業績推移は新セグメントベース。

先進的な技術で開発した ビッグフレーム構法の販売が好調

＜木造住宅進化への取り組み＞

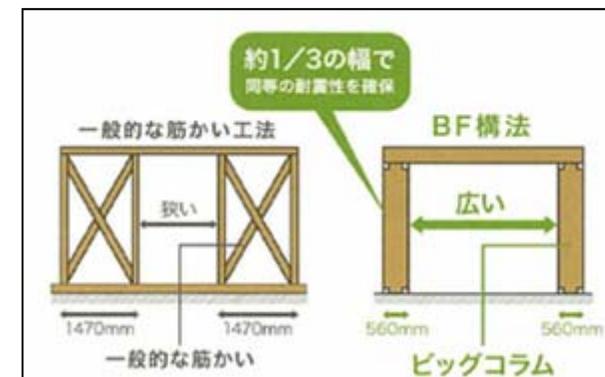
- 住宅建材のプレカット技術を確立(1988年)
⇒ 建築作業の省力化、工期短縮を実現。
- CAD/CAM体制を構築(1990年)
⇒ 作図積算に加え、建築現場の生産コストも詳細に把握することが可能に。
- 集成材の導入(1993年)
⇒ 品質・精度向上。2002年には「スーパー檜」を開発。



スーパー檜

＜ビッグフレーム(BF)構法＞

- ・国内住宅のスクラップ&ビルドの発想からの脱却を目的に良質な資産としての住まいを研究開発。
- ・ビッグコラムと梁で強靱な躯体を造るため、設計の自由度が高い。



ビッグコラム

木の可能性を追求し、 木質資源の付加価値を高めていく

「木造住宅の進化」に大きく貢献しているのが当社の研究開発

住宅関連

- ・自然エネルギーを効果的に利用した住宅の研究。
- ・住宅が住む人に与える心理面の研究。

「新しい木の住まい」と「暮らしやすさ」を追求



筑波研究所

木質資源関連

- ・多様な樹種及び付加価値が高い木質材料を生み出す研究。
- ・木質材料に適した樹種の育苗・増殖、希少木の研究。

付加価値の高い木質材料の創出が目的



醍醐寺のしだれ桜

実物大振動実験



「社会貢献及び地球環境貢献」と「企業成長」を同時に実現していく

東日本大震災を経て、今ほど企業の社会的責任、経営姿勢が問われている時代はない。

＜復興支援＞

- 東北復興支援室の設立



中長期にわたる復興に対し、グループで横断的に取り組む。

- 被災地における「木と緑」を軸とした復興支援を行う。

＜社会貢献・環境貢献＞

2012年3月 「住友林業グループ生物多様性宣言」を制定。世界共通の目標「愛知目標」に対応し、事業レベルで長期目標に反映させ確実に実行。

2012年4月 「DBJ環境格付」で最高ランクを取得

DBJ環境格付融資
Sランク認証マーク



発芽した後継樹の苗



希望の一本松



応急住宅

木を軸とした多様なビジネスを展開する当社は、社会貢献・環境貢献と企業成長を同時に実現できる、独特なポジションにある企業。

この独自性を最大限に活かし、人と社会に評価される付加価値の高い事業を展開し、皆様の期待に応えてまいります。



本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

2012年5月11日